

技術職員名簿（市内業者用）の記載要領

木津川市建設部指導検査課

1. 「氏名」の欄
左詰めとし、姓と名の間を一文字分空けて記入してください。
2. 「生年月日」及び「雇用開始年月日」の欄
それぞれの年月日を以下の記載例を参考に記入してください。
年号の略称は次のとおり。（明治「M」・大正「T」・昭和「S」・平成「H」・令和「R」）
記載例：昭和59年1月1日の場合 「S 5 9 . 1 . 1」
3. 「有資格区分コード」及び「実務経験担当者業種コード」の欄
各コードは、経営事項審査申請における区分コード表の中から該当するものを記入してください。
ただし、経営事項審査申請に関わらず、技術者の有する資格を全て記入してください。
4. 「監理技術者資格者証」の欄 ※特定建設業許可業種を希望する場合のみ記入
監理技術者資格者証を有する者は「監理技術者資格者証」欄に○を記入してください。
5. 「解体工事」の欄 ※解体工事を希望する場合のみ記入
 - (1) 平成28年度以降の土木施工管理技術検定（1級又は2級）、又は建築施工管理技術検定（1級又は2級）の合格者の場合は、「解体工事」欄に「検定」と記入してください。
 - (2) 平成27年度以前の土木施工管理技術検定（1級又は2級）、又は建築施工管理技術検定試験（1級又は2級）の合格者の場合は、解体工事に関する実務経験1年以上又は登録解体工事講習の受講が必要です。
実務経験の場合は、「解体工事」欄に「27経」と記入し、解体工事に関する実務経験を実務経験証明書（第3号様式（3-2））により提出してください。
登録解体工事講習を受講した場合は「解体工事」欄に「27講」と記入し、受講証の写しを提出してください。
 - (3) 解体工事に関する実務経験10年以上の技術者の場合は、「解体工事」欄に「経験」と記入し、解体工事に関する実務経験を実務経験証明書（第3号様式（3-2））により提出してください。
 - (4) 上記（1）から（3）以外の技術者の場合は、別途指導検査課までお問合せください。
6. 「経管」及び「専任」の欄
経營業務の管理責任者は「経管欄」に、営業所専任の技術者は「専任欄」に○を記入してください。
7. 最下段に作成した日付を記入のうえ、申請者の所在地、商号又は名称並びに代表者の氏名を記載し、代表者印を押印してください。
8. 名簿の右上に提出する枚数を記入し、複数枚にわたる場合は、それぞれに申請者の所在地、商号又は名称並びに代表者の氏名を記載し、代表者印を押印してください。